

**CASBEE-建築(新築)2014年版**  
**西日本シティ銀行(仮称)北九州ビル**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.4</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>3.2</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.15		-			<b>3.0</b>
1.1 騒音		3.0	0.40		-			
1.2 遮音		<b>3.0</b>	0.40		-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60		-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40		-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-		-			
1.3 吸音		<b>3.0</b>	0.20		-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.3</b>	0.35		-			<b>3.3</b>
2.1 室温制御		<b>3.7</b>	0.50		-			
1 室温		3.0	0.38		-			
2 外皮性能		3.0	0.25		-			
3 ゾーン別制御性	冷暖フリー型のビルマルを用い、ペリメーター・インテリアでゾーニング	5.0	0.38		-			
2.2 湿度制御		<b>3.0</b>	0.20		-			
2.3 空調方式		<b>3.0</b>	0.30		-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.1</b>	0.25		-			<b>3.1</b>
3.1 昼光利用		<b>1.8</b>	0.30		-			
1 昼光率		1.0	0.60		-			
2 方位別開口			-		-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40		-			
3.2 グレア対策		<b>3.0</b>	0.30		-			
1 昼光制御		3.0	1.00		-			
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15		-			
3.4 照明制御	個別調光可能なシステムを導入している	<b>5.0</b>	0.25		-			
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.5</b>	0.25		-			<b>3.5</b>
4.1 発生源対策		<b>4.0</b>	0.50		-			
1 化学汚染物質	内装材料は全般的にF☆☆☆☆を採用	4.0	1.00		-			
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.30		-			
1 換気量		3.0	0.33		-			
2 自然換気性能		3.0	0.33		-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33		-			
4.3 運用管理		<b>3.0</b>	0.20		-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50		-			
2 喫煙の制御		3.0	0.50		-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30		-			<b>3.4</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.6</b>	0.40		-			<b>3.6</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.3</b>	0.40		-			
1 広さ・収納性		3.0	0.33		-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33		-			
3 バリアフリー計画	建築物移動等円滑化基準、福岡県福祉のまちづくり条例の整備基準	4.0	0.33		-			
1.2 心理性・快適性		<b>4.6</b>	0.30		-			
1 広さ感・景観	天井高さは2.8mとしている	4.0	0.33		-			
2 リフレッシュスペース	5階にリフレッシュスペースを計画	5.0	0.33		-			
3 内装計画	無彩色によるモントーンを基調とし、案内サイン等の視認性に留意	5.0	0.33		-			
1.3 維持管理		<b>3.0</b>	0.30		-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.1</b>	0.30		-			<b>3.1</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	0.50		-			
1 耐震性		3.0	0.80		-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.4</b>	0.30		-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	外気取り入れダクト、屋外ダクト、厨房排気ダクトはSUSとしている	5.0	0.10		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	上水・雑用水配管に塩ビライニング鋼管を用いている	4.0	0.20		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-			

<b>2.4 信頼性</b>			<b>3.0</b>	0.20		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.4</b>	0.30		-	<b>3.4</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>4.6</b>	0.30		-	
1	階高のゆとり	階高4.2m以上	5.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.242	4.0	0.40		-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30		-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30		-	<b>3.8</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>3.0</b>	0.30		-	<b>3.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		北面はガラスの縦基調デザインとモノトーンの色彩計画を採用	<b>5.0</b>	0.40		-	<b>5.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>3.0</b>	0.30		-	<b>3.0</b>
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>			<b>3.0</b>	0.50		-	
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>			<b>3.0</b>	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-		-	<b>3.6</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40		-	<b>3.9</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		BPI=0.963	<b>3.1</b>	0.22		-	<b>3.1</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			-	-		-	-
<b>3 設備システムの高効率化</b>		BEI 非住宅 0.70 住宅(専有部) 0.83	<b>4.8</b>	0.56		-	<b>4.8</b>
集合住宅以外の評価(3a.3b)		LED照明の採用、外調機CO2制御省エネに配慮している BEI=0.74	4.8	1.00		-	
集合住宅の評価(3c)						-	
<b>4 効率的運用</b>			<b>2.5</b>	0.22		-	<b>2.5</b>
集合住宅以外の評価			<b>2.5</b>	1.00		-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制			2.0	0.50		-	
集合住宅の評価						-	
4.1 モニタリング						-	
4.2 運用管理体制						-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30		-	<b>3.6</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.8</b>	0.20		-	<b>3.8</b>
<b>1.1 節水</b>		節水コマ、擬音装置、節水器具の利用	<b>4.0</b>	0.40		-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.7</b>	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無		雨水利用あり	4.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.8</b>	0.60		-	<b>3.8</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>			3.0	0.10		-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			3.0	0.20		-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>		杭コンクリート:高炉セメントB種	5.0	0.20		-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>		-	3.0	0.20		-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			3.0	0.10		-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>		OAフロアを広範囲に採用	5.0	0.20		-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.0</b>	0.20		-	<b>3.0</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			3.0	0.30		-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>3.0</b>	0.70		-	
1 消火剤			-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50		-	
3 冷媒			3.0	0.50		-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30		-	<b>3.3</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		LED照明の採用、外調機CO2制御省エネに配慮している	<b>3.8</b>	0.33		-	<b>3.8</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33		-	<b>3.0</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>			<b>3.0</b>	0.25		-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>3.0</b>	0.50		-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>3.3</b>	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減			-	-		-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33		-	
3 交通負荷抑制		交通の流れを阻害しない適切な駐車場計画	4.0	0.33		-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.33		-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.2</b>	0.33		-	<b>3.2</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40		-	
1 騒音			3.0	0.33		-	
2 振動			3.0	0.33		-	
3 悪臭			3.0	0.33		-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40		-	
1 風害の抑制			3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制						-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30		-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>4.4</b>	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		広告物照明の配慮事項の過半を満たす計画	5.0	0.70		-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	